

まちの話題 topics



知名保育所の園児と瀬利覚字老人クラブのみなさんが、10月22日、保育所の隣にある畑で芋掘りを行いました。今年は雨量が少なかったため、例年より小振りな芋が多く見受けられましたが、大きな芋がとれた時は友達と比べるなど、楽しそうに芋掘りを行いました。

楽しく芋掘りをしました



下平川小6年生が、10月21日に「共に生きる私たち」の授業の一環で、認知症キッズサポーター養成講座を受講し、認知症サポーターになりました。認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かい目で見守る人のことです。

認知症を正しく理解しましょう



移動消費生活講座が、10月31日、商工会館でありました。今回は、公益社団法人日本訪問販売協会の小田井正樹氏を講師に、「訪問販売トラブル防止、契約の基礎的知識について」と題し、講演をしていただきました。会場には約40名が出席し、講師の話に熱心に耳を傾けていました。

自立した消費者を目指して



宝くじ文化公演演劇「あとは野となれ山となれ」が、10月23日、あしびの郷・ちなででありました。赤城万里子役の竹下景子と宇梶剛士、岸田茜との軽妙なやりとりで、観客は時に笑い、そして涙するなど、日本人の琴線にふれる感動的な舞台となりました。

あとは野となれ山となれ



沖永良部与論地区広域事務組合創立30周年の記念式典・祝賀会が、10月26日、フローラル館でありました。記念式典で組合の管理者である平安正盛町長が、「救急業務が円滑に運営されているのは、管内の医療機関並びに沖永良部警察署さらには自衛隊のご協力の賜物であり、また、介護保険認定業務につきましても、調査及び審査の適正化

発足から30年



と迅速化のために、関係各位の協力をいただき円滑な運営がなされており、衷心より感謝を申し上げます。」とあいさつを述べました。消防署では現在、平成27年から運用を始める消防救急無線デジタルの整備を進めており、あわせて、消防及び救急業務に係る最新設備や機材を最大限に活かせる高度な技術の取得をする体制の確立を図っています。